

こんな場所に自生種のリンドウが



これは、ある民家の庭先です。(平成21年4月23日撮影)

ここの庭主さんは、ここにお住まいになり長い年月が経過していると聞いております。

お庭の改修をされたとき山土を入れられたところ、徐々にリンドウが増えてきたそうです。

庭主の方も、お米のとぎ汁を庭に撒いたりして、自然に近い状態になるようできるだけ心がけていられるそうです。

(わかりますか？どれがリンドウか。)



この自生種リンドウは、決してお店で買って来て植えたものではなく、川西の自然環境の中で、しっかり育った正真正銘の生え抜きの自生種です。

このような、自生種のリンドウを公園や緑地、そして各家庭でも育てて欲しいと願っています。





追伸：10月14日に4月にお邪魔した庭主さんを尋ねました。

ご不在のようでしたので、道路から生垣越しに、そっと庭の一部を見せてもらいました。でも中は見えませんでした。どうもまだ、紫の花はつけていないようでした。

近日中に、事前にご連絡の上、またお庭を拝見してみたいと思っています。

園芸専門家、山野草関係者でも困難とされているリンドウの自生種の栽培を民家の庭などで出来ることは奇跡に近いのではないかと考えられます。

秋の話題として、テレビや新聞社に情報を流せば取り上げられることは間違いありませんが、それを知った人々がここに押しかけた場合、庭主さんだけでなく、地域一体に大迷惑をおかけしますので、所在地並びに庭主さんの情報は公開いたしませんので、その点はお覧の皆様もご容赦願います。でも、写真は今後掲載できるよう交渉しますのでご期待ください。